

令和 4 年

第 2 回防府市議会定例会

一 般 質 問

7 月 1 日（6 人）

1 河村 孝・2 山田 耕治・3 今津 誠一・4 曾我 好則
5 村木 正弘・6 青木 明夫

7 月 4 日（6 人）

7 梅本 洋平・8 高砂 朋子・9 宇多村 史朗・10 久保 潤爾
11 石田 卓成・12 三原 昭治

7 月 6 日（5 人）

13 和田 敏明・14 清水 力志・15 田中 健次・16 牛見 航
17 藤村 こずえ

No.	1	河村 孝
質 問 事 項		要 旨
1 誰一人取り残さないデジタル化の推進について		国は、デジタル基盤の整備を進め、地方の生活利便性を高める「デジタル田園都市国家構想」の基本方針を公表した。誰一人取り残さないデジタル化の推進のために、総合的な戦略と具現化が必要と考える。本市としてのご所見を伺う。 (１) デジタル化の基盤となるマイナンバーカードの普及促進の現状と今後の取組について (２) 行政手続きのオンライン化など、マイナンバーカードの活用方法について (３) 人材の地域への還流促進や女性などのデジタル人材の育成・確保について (４) 高齢者や障がい者等への配慮で、誰一人取り残さないための取組について
2 青年の声を反映した市政について		若い青年世代の政治参画の低迷が長年指摘されている。まずは、青年の市政への関心を高める取組が、必要だと考える。ご所見を伺う。
3 側溝蓋の騒音対策について		道路の狭隘などにより、車の離合時等に、側溝蓋やグレーチングのがたつきによる騒音による苦情が増えている。経年によるコンクリート蓋やグレーチングの老朽化が原因と思われる。生活に身近な騒音対策として、市道維持補修事業とは別に、対応すべきと考える。ご所見を伺う。

No.	2	山田 耕治
質 問 事 項		要 旨
1 公民館の活用について		(1) 生涯学習の場、コミュニティ活動推進の拠点として、社会教育の場を提供する公民館であるが、地域によって、人口や公民館利用頻度等が異なる。公民館職員の適正人数の考え方と職員配置の状況は？ (2) 公民館で、指定避難所及び指定緊急避難場所に指定されているところがあるが、災害時の受け入れ態勢を考慮するとトイレやシャワールーム、バリアフリー対策も考えるべきでは？ (3) コロナ禍による貸館の停止などで、公民館の講座等の利用が減っていると思われるが、利用回数や利用人数の推移は？ (4) 消防器庫や老人憩の家等の連携や併設も含めての考え方は？
2 防災について		(1) 全国一斉情報伝達試験（Ｊアラート）が実施されているが、試験後の検証は？ (2) 防災行政無線サイレン吹鳴が、風向きにより、サイレンの音が聞こえないという声も多いですが、令和４年度市地域防災訓練の状況は？ (3) 単位自治会の中で、自主防災組織率と防災部体制及び活動表の推進状況は？ (4) 小・中学校での防災教育の状況は？

No.	3	今津 誠一
質 問 事 項		要 旨
1 警察署の市役所敷地移転計画		山口県は本年２月定例会において、防府警察署の市役所敷地への移転に係る予算を可決した。 この移転について市は、これまで一度も市民への説明会を開催しておらず、市民の意見を聞くことも、また市民の理解を得てもない。 このような状況の中で、県が移転の予算を市民の頭越しに早々と可決したことは、防府市の独立性を無視した暴挙である。 市長はこれまでの議会答弁で「警察署の建設が具体化すれば、しっかりと市民の声を聞かなければならない」との考えを示してきた。 計画が具体化した今、議会答弁通り市民の声をしっかりと聞くための説明会を開催すべきである。

No.	4	曾我 好則
質 問 事 項		要 旨
1	今後の市政運営について	これまでの4年間で本市が飛躍的に発展できたのは、池田市長の政治手腕に因るところが大きいと感じており、2期目も大いに期待している。 しかしながら、日本を取り巻く環境が急激に変化する中、本市にとっても非常に困難な舵取りが予想されるが、今後の市政運営について、ご所見を伺う。
2	原油価格・物価高騰対策について	ロシアによるウクライナ侵攻により、世界規模で不確実性が高まり、原油や穀物等の国際価格は高騰し続け、実体経済への影響が顕著となっている。 このため、国において、コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」に基づく補正予算が執行されたところである。 本市においても、これら補正予算等をしっかりと活用しながら、市民や事業者への支援が必要であると考え、ご所見を伺う。

No.	5	村木 正弘
質 問 事 項		要 旨
1	佐波川右岸広域防災広場の整備について	佐波川右岸広域防災広場の整備について、アクセス道路や地域との連携、協力の状況、及び、今後のスケジュールを伺う。
2	買い物弱者への対応について	本市でも高齢化が進み、自動車運転免許証の返納をされる方が増えてきている。小野地区をはじめ周辺地域では、交通手段も少ない中、商店やスーパーが閉店し、買い物に大変苦勞されている方もおられる。買い物弱者への今後の対応について、ご所見を伺う。

No.	6	青木 明夫
質 問 事 項		要 旨
1	ヤングケアラー問題に対する支援策について	家事や家族の世話などで年齢や成長の度合いに見合わない責任や負担を負わされている子どもたち「ヤングケアラー」の山口県内の実態を把握するためのアンケート調査が行われようとしています。まずは、ヤングケアラーに関する家庭や学校、進路のことなど様々な相談を受け付ける窓口の開設が必要と思われます。 (1) 昨年3月議会での一般質問に対し、学校や福祉・医療サービスなど関係機関と連携し取り組むとのご答弁でしたが、具体的な取組の内容があればお尋ねします。 (2) 学校において教職員や保護者などにヤングケアラー問題について、啓発活動が必要と考えますが、いかがでしょうか。 (3) 地域でのヤングケアラー支援体制についてお考えがあれば、お尋ねします。
2	部活動の地域移行について	部活動は「教育の一環」という公的な側面と、教員の「ボランティア精神」を基に低廉な費用で運営されてきました。 日本社会で「働き方改革」が広がり、現場の教員や家族らからは「ブラック部活」「顧問を拒否したい」と不満が噴出しています。他方で少子化による部員不足から団体競技を中心に学校単位での活動やチーム編成が難しくなってきました。 教員の休日確保が目的でもある部活動の地域移行は、住民の協力が不可欠です。少子化と働き方改革を背景に、長く学校が担った中学生の部活動が変革期を迎えています。「持続可能な部活」へのシフトには保護者を含めた住民や行政など地域全体の協力が不可欠と思われます。部活動の主体を学校から地域に移行する考え方が必要とされています。 (1) 部活動の地域移行に向けての考えをお尋ねします。 (2) 各種地域団体への問題を提起することを考えておられるのかお尋ねします。 ※学校運営協議会、地域自治会連合会、社会福祉協議会 (3) 指導者として、自衛隊や大手企業等への働き掛けを考えておられるのかお尋ねします。

No.	7	梅本 洋平
質 問 事 項		要 旨
1	市道小徳田野地線拡幅に伴う華城小学校等の対応について	前回３月議会の一般質問の中で、華城小近隣に土地を求める必要があり、候補地を検討しているとの答弁があった。 また、小学校内を東西に走る道路は、教職員の駐車場にも利用されており、そのほか学校関係者や、留守家庭児童学級の送迎、スポ少などの学校施設利用者の車両が、狭い敷地内を多く出入りしており危険な状況である。 （１）現在の候補地の検討状況はいかがか。 （２）候補地を検討する中で、敷地内および周辺道路の混雑緩和策を併せて検討できないかご所見をお伺いする。
2	防府市ハザードマップ高潮編について	平成２４年に作成されたハザードマップ高潮編は現在も市民の皆様に災害時の判断に活用されている。そのような中、山口県は先月高潮浸水想定区域図の最新版を告示した。 （１）県の高潮浸水想定区域図が変更された経緯や、今後防府市ハザードマップ高潮編の作成について、どのように取り組まれるのかお伺いする。

No.	8	高砂 朋子
質 問 事 項		要 旨
1	ヤングケアラーへの支援について	(1) 今年度、県が行う学校現場での実態調査の時期や方法、また、その中で支援を必要とする子ども達をどのように把握して行くのか伺う。 (2) 主に学校が望ましいと思うが、相談しやすい環境づくりについて伺う。 (3) 各関係部署との連携による適切な支援につなげる体制について伺う。
2	通学路の安全対策について	みまもり隊や自治会等、地域の皆さま方も子ども達の通学路が安全であるよう心を砕いておられる。 心配されている箇所がスムーズに把握でき、それらの声が反映される仕組みが必要では。ご所見を伺う。
3	食品ロス削減への取組みについて	(1) 「やまぐち食べきり協力店」の登録推進について伺う。 (2) 宴会等で出来る食品ロス削減「3010運動」の普及啓発について伺う。 (3) 家庭での食品ロスの削減のために、暮らしの中で意識して実践出来る取組みの普及啓発について伺う。

No.	9	宇多村 史朗
質 問 事 項		要 旨
1 富海駅について		来年３月に予定されている富海駅へのＩＣカード乗車券（ＩＣＯＣＡ）導入に伴う駅舎のコンパクト化について

No.	10	久保 潤爾
質 問 事 項		要 旨
1	特別職報酬等審議会について	5月に行われた市長選挙の投票率は、33.43%とこれまでで最低の投票率となった。要因は様々にあると思うが、退職金も含めて考えた際に県内他市と比較して低い市長の収入も、その一因ではないかと考える。 池田市長は、前回の任期で一度も特別職報酬等審議会に諮問を行っていないが、これに対する考えを問う。
2	有害鳥獣対策について	ヌートリア、アライグマなどの有害鳥獣の目撃情報が一部の地域で増えているように見受けられる。有害鳥獣の増加は市民生活に悪影響をもたらす可能性が高い。 このことに対して、執行部がどのような考えを持っているのか、以下の3点について問う。 (1) 有害鳥獣の被害を防止するために、どのような方針を立てているのか。 (2) 有害鳥獣の目撃情報が寄せられたとき、どのような対応を取っているのか。 (3) 「防府市鳥獣被害防止計画」には、取り組みとして、啓発チラシ、パンフレットの配布とあるが、作成・配付の状況はどうか。

No.	1 1	石田 卓成
質 問 事 項		要 旨
1	スマホからも通報できる、道路の不良箇所通報システムについて	(1) 素晴らしい取り組みを始めてくださったと感じているのですが、6月1日に開始して以降、どのくらいの通報がありましたか。 (2) 市道については、すぐに対応してくださっていますが、農道については専属の維持補修班が対応するのではなく、農林漁港整備課の職員が他の業務の合間に対応することになります。そして私道については、市道のように使われている道路であっても、現在の仕組みでは対応することができません。市民の皆さまには市道と農道、私道の区別がつかないため、市民から通報が寄せられても、すぐに対応できなければ、結局は不満に繋がり、通報してくださる市民も少なくなるのではないかと心配しています。 今後は、農林漁港整備課の職員さんに圃場整備等の本来業務に専念して頂くために、農道についても、道路課の維持補修班で対応し、市道と農道の補修について一元的に対応していくことが求められていくようになります。また、現在でも維持補修班はフル稼働で動かれていますので、更なる増員の必要があると思います。執行部としては、どのように考えておられますか。 (3) 既に先進的な自治体では、道路や水路などの土木関係の不良箇所の通報だけでなく、同じアプリ内で野犬目撃情報の通報をしたり、通報後の進捗状況を確認したりできるような通報アプリが開発されています。近年我が市においても徐々に野犬が増えてきており、実際の被害も発生しておりますので、道路だけでなく、同じアプリ内で野犬情報も通報でき、その後の進捗状況も確認できたり、更には、不法投棄や不審者情報、ろうあ者の119番通報、スマホのナビと連動させた避難所情報などが、一つのアプリ内で完結できるような全国モデルとなれるアプリを、県のシビックテックチャレンジYAMAGUCHIで共同開発されては、いかがでしょうか。

No.	1 2	三原 昭治
質 問 事 項		要 旨
1	コロナ禍におけるマスク対応について	厚生労働省は、コロナ禍におけるマスクの着用について、現況の感染状況などから、屋外では、他者と身体的距離が2 m以上が確保ができない中で会話を行う場合以外は、マスク着用の必要がない。さらに、小学校から高校段階では屋内外で、会話をほとんど行わない場合は、着用の必要はないなどとしているが、防府市として、市の現況における対応は。また、マスク着用の場合、表情が見えないことから、コミュニケーションが懸念されているが、対応を考えるべきでは。
2	地域安心防犯灯設置事業について	自治会による設置が困難な通学路において、市が防犯灯を設置する地域安心防犯灯設置事業の進捗状況は。

No.	13	和田 敏明
質 問 事 項		要 旨
1	交通安全対策について	(1) 高齢化における安全対策について (2) 信号機のない交差点等の安全対策について (3) 区画線・スクールゾーン等について (4) 安全対策の要望について
2	自治会長の役割りにについて	自治会長が行う各委員の推薦について

No.	14	清水 力志
質問事項		要 旨
1	異常な物価高騰による市内産業と市民生活への影響について	(1) 異常な物価高の原因と中長期の見通しについて、市ではどのように見ているか。 (2) 市内産業への影響とその対策について (3) 市民生活への影響とその対策について
2	華城小学校周辺道路整備について	(1) 市道小徳田野地線の道路拡幅部分約300mについて、歩道は十分に確保されているか。 (2) 市道の拡幅により、華城小学校の敷地部分がかなり削られることになるが、周辺用地取得をどう考えているか。

No.	15	田中 健次	
質 問 事 項			要 旨
1 自治体DX推進について			(1) DXを推進するための全体方針は策定したのか。 (2) 自治体の情報システムの標準化・共通化の取り組みは、どの程度まで進んだのか。
2 災害対策について			(1) 公民館、小・中学校施設を対象に「まるごとまちごとハザードマップ」に取り組むべきではないか。 (2) 国土交通省の「地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）」を市ホームページで紹介し、浸水深さやその到達時間など市民に啓発をすべきではないか。
3 学校図書館について			(1) 文部科学省の第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」では、学校司書の配置を1.3校に1名、将来的には1校に1名の配置を目指すとしています。 この目標にむけて、防府市も学校司書の増員計画を策定すべきではないか。 (2) 平成28年11月の文部科学省の通知文書「学校図書館の整備充実について」において、「学校図書館ガイドライン」、「学校司書のモデルカリキュラム」が示されています。 ア 「学校図書館ガイドライン」を各学校に配付、周知をしているのか。 イ 「学校司書のモデルカリキュラム」の内容の研修を教育委員会が学校司書に実施すべきではないか。 ウ 専門的知識や技能を確保するため、正規職員の雇用を検討すべきではないか。

No.	16	牛見 航
質 問 事 項		要 旨
1	「第5次防府市総合計画」 における今後の具体的な ビジョンについて	(1) 税収・人口などの具体的な数値目標と対策・改善案について (2) 積極的な経済対策について (3) 子育て支援の積極的な対策について
2	新型コロナウイルス対策について	(1) ワクチン接種記録の保存期間について (2) こどもたちの給食の黙食の改善について (3) 脱マスクの推進について

No.	17	藤村 こそえ
質 問 事 項		要 旨
1 防府競輪場のまちづくりへの貢献について		防府競輪場の実施設計の概要が示され、整備スケジュールなども明らかになった。昨年の9月議会での一般質問に対し、市長から、「防府らしい、魅力あふれる競輪場に生まれ変わらせ、まちづくりの一翼を担えるような施設としていきたい。」とご答弁があったが、これから生まれ変わる競輪場を、どのように運営していこうとされているのか、ご所見を伺う。

